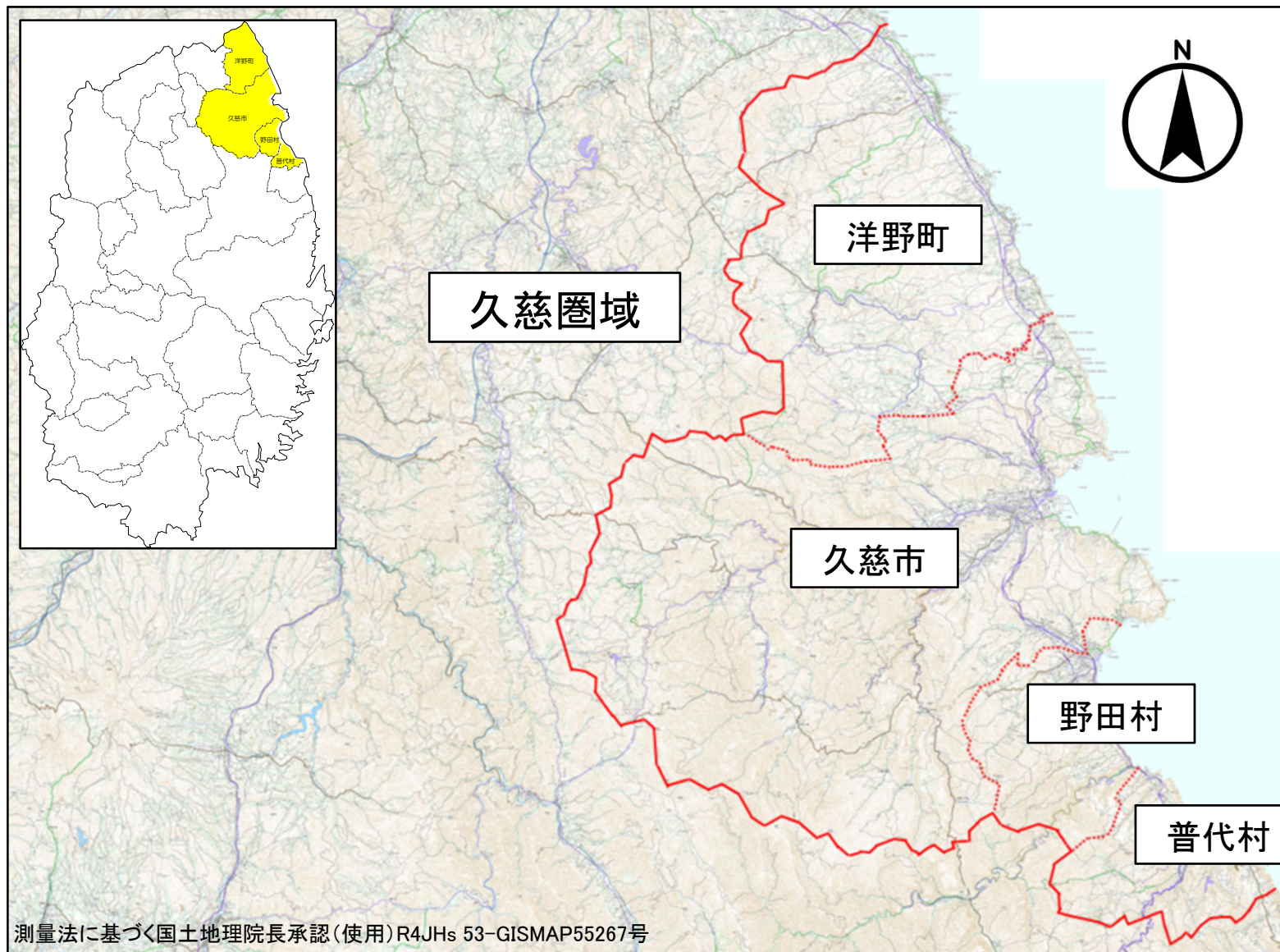


## 久慈圏域流域治水プロジェクト(案)

本資料は、各団体が作成した取組を、事務局が整理・統合したものとなる。各団体の詳細な内容については、後日取りまとめる「参考資料」に記載する。

平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈圏域においては、河川改修、森林整備、河川・防災・気象情報の充実等を実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制や避難のための流域対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。





平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈圏域においては、河川改修、森林整備、河川・防災・気象情報の充実等を実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制や避難のための流域対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

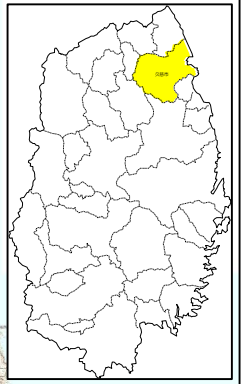
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・森林整備・治山対策の推進【国・県・市・森林整備センター】
  - ・河川改修、河道掘削等【県・市】
  - ・雨水排水施設の整備【市】
  - ・滝ダムにおける事前放流等の実施【県】

- 被害対象を減少させるための対策
- ・水害リスクの高い地域における土地利用規制の検討【市】
  - ・下水道施設の耐水化【市】

- 久慈市内の二級河川における河道掘削等(県)
- 久慈市内の準用河川・普通河川における河道掘削等(市)
- 久慈市内における森林整備・治山対策の推進(国・県・市・森林整備センター)

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
- ・自主防災組織の結成・活動の促進【市】
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定【市】
  - ・防災講演会等の開催・防災士の養成【市】
  - ・河川・防災・気象情報の充実等【国・県・市】
  - ・水位周知河川の指定・運用【県・市】
  - ・ホットライン・タイムラインの運用【県・市】
  - ・鉄道橋脚の洗堀対策(夏井川・久慈川)【民間】

- 凡例
- 河川改修等(県)
  - ▲ 雨水排水施設の整備
  - ▲ 下水道施設の耐水化
  - 滝ダムにおける事前放流等の実施
  - 鉄道橋脚の洗堀対策(夏井川・久慈川)



○久慈圏域流域では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期】 近年甚大な浸水被害を受けた箇所等について、河道掘削や築堤、河道付替等の河川改修を集中的に実施する。

災害危険区域指定・地区計画・条例などによる土地利用規制及び家屋等の立地規制の検討、森林整備・治山対策の推進、下水道施設等の雨水排水施設の整備、鉄道橋脚の洗掘対策を実施する。

ソフト対策では、要配慮利用施設の避難確保計画策定及び避難訓練の実施、自主防災組織の結成・活動促進を行うほか、防災士の養成や防災講演会や研修の実施で地域防災力及び防災意識の向上を図る。また、ハザードマップの更新や水位周知河川運用に加え、ホットライン・タイムラインの活用等による防災体制の強化及び河川・防災・気象情報の充実を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施する。

ソフト対策では適宜フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

【凡例】

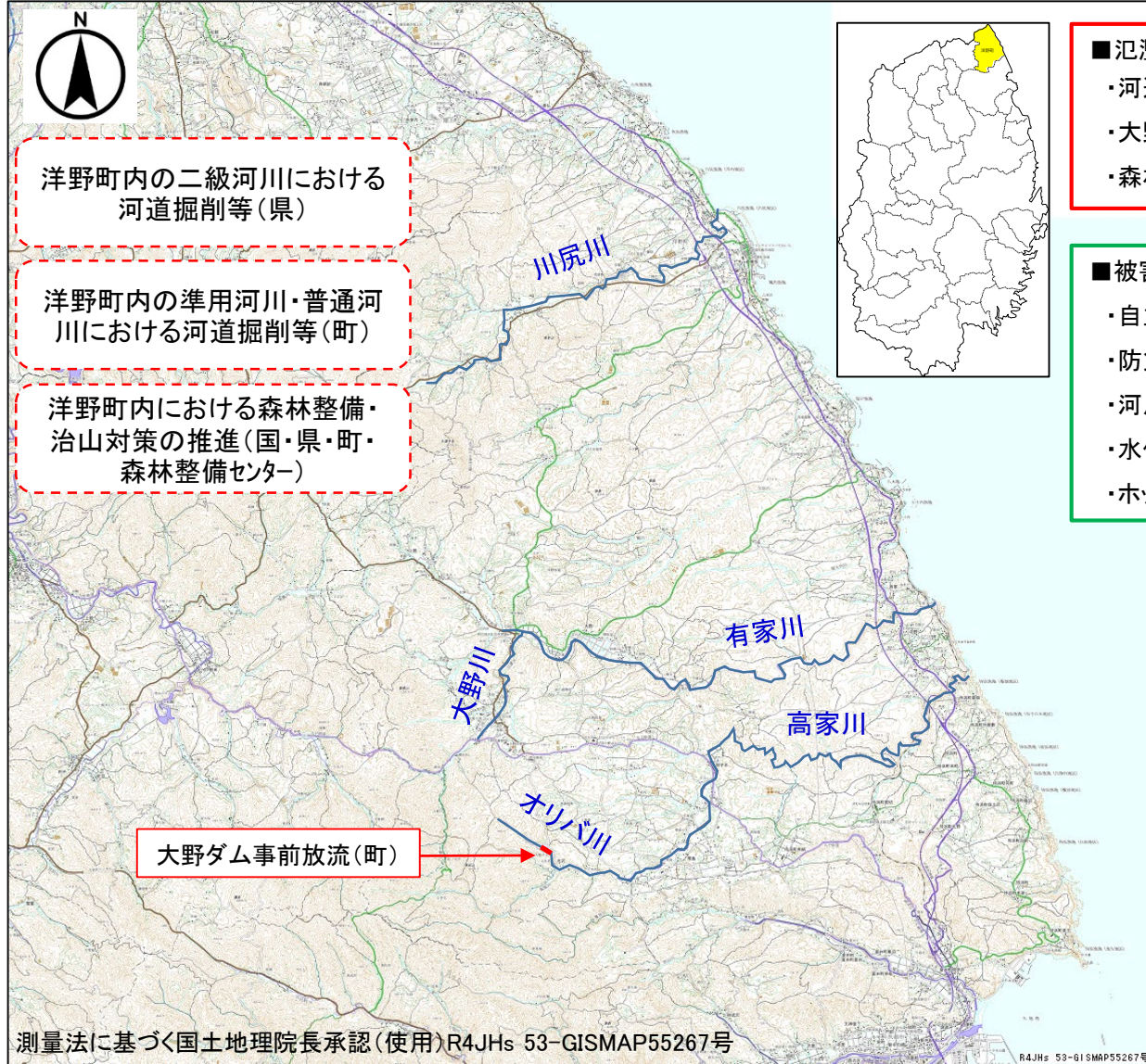
**破線** 事業中、取り組み中  
**実線** 完了後の維持管理、フォローアップ等

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	森林整備・治山対策の推進	林野庁・岩手県・久慈市・森林整備センター		
	河川改修、河道掘削等	岩手県・久慈市		
	雨水排水施設の整備	久慈市		
	滝ダムにおける事前放流等の実施	岩手県		短期計画として堰堤改良を実施
被害対象を減少させるための対策	水害リスクの高い地域における土地利用規制の検討	久慈市		
	下水道施設の耐水化	久慈市		
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	自主防災組織の結成・活動の促進	久慈市		
	要配慮者利用施設の避難確保計画策定	久慈市		
	防災講演会等の開催・防災士の養成	久慈市		
	河川・防災・気象情報の充実等	気象庁・岩手県・久慈市		
	水位周知河川の指定・運用	岩手県・久慈市		
	ホットライン・タイムラインの運用	岩手県・久慈市		
	鉄道橋脚の洗掘対策(夏井川・久慈川)	JR東日本		

※短期は5年程度



平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈圏域においては、河川改修、森林整備、河川・防災・気象情報の充実等を実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制や避難のための流域対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・河道掘削等【県・町】
  - ・大野ダムにおける事前放流等の実施【町】
  - ・森林整備・治山対策の推進【国・県・町・森林整備センター】

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
  - ・自主防災組織の結成・活動の促進【町】
  - ・防災士の養成【町】
  - ・河川・防災・気象情報の充実等【国・県・町】
  - ・水位周知河川の指定・運用【県】
  - ・ホットライン・タイムラインの運用【県】

二級水系  
流域治水プロジェクト

久慈圏域流域治水プロジェクト【ロードマップ・洋野町】

○久慈圏域流域では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

- 【短期】** 近年甚大な浸水被害を受けた箇所等について、河道掘削等を集中的に実施する。森林整備・治山対策の推進を実施する。  
ソフト対策では、避難訓練の実施、自主防災組織の結成・活動促進を行うほか、防災士の養成や防災講演会や研修の実施で地域防災力及び防災意識の向上を図る。また、ハザードマップの更新や水位周知河川運用に加え、ホットライン・タイムラインの活用等による防災体制の強化及び河川・防災・気象情報の充実を図る。
- 【中長期】** 河道掘削後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施する。  
ソフト対策では適宜フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	河道掘削等	岩手県・洋野町		
	大野ダムにおける事前放流等の実施	洋野町		
	森林整備・治山対策の推進	林野庁・岩手県・洋野町・森林整備センター		
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	自主防災組織の結成・活動の促進	洋野町		
	防災士の養成	洋野町		
	河川・防災・気象情報の充実等	気象庁・岩手県・洋野町		
	水位周知河川の指定・運用	岩手県		
	ホットライン・タイムラインの運用	岩手県		

※短期は5年程度

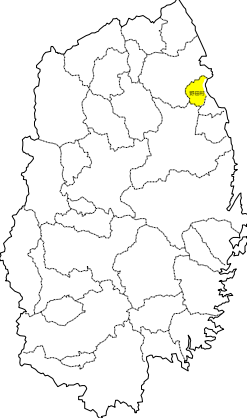
**【凡例】**

**破線** 事業中、取り組み中

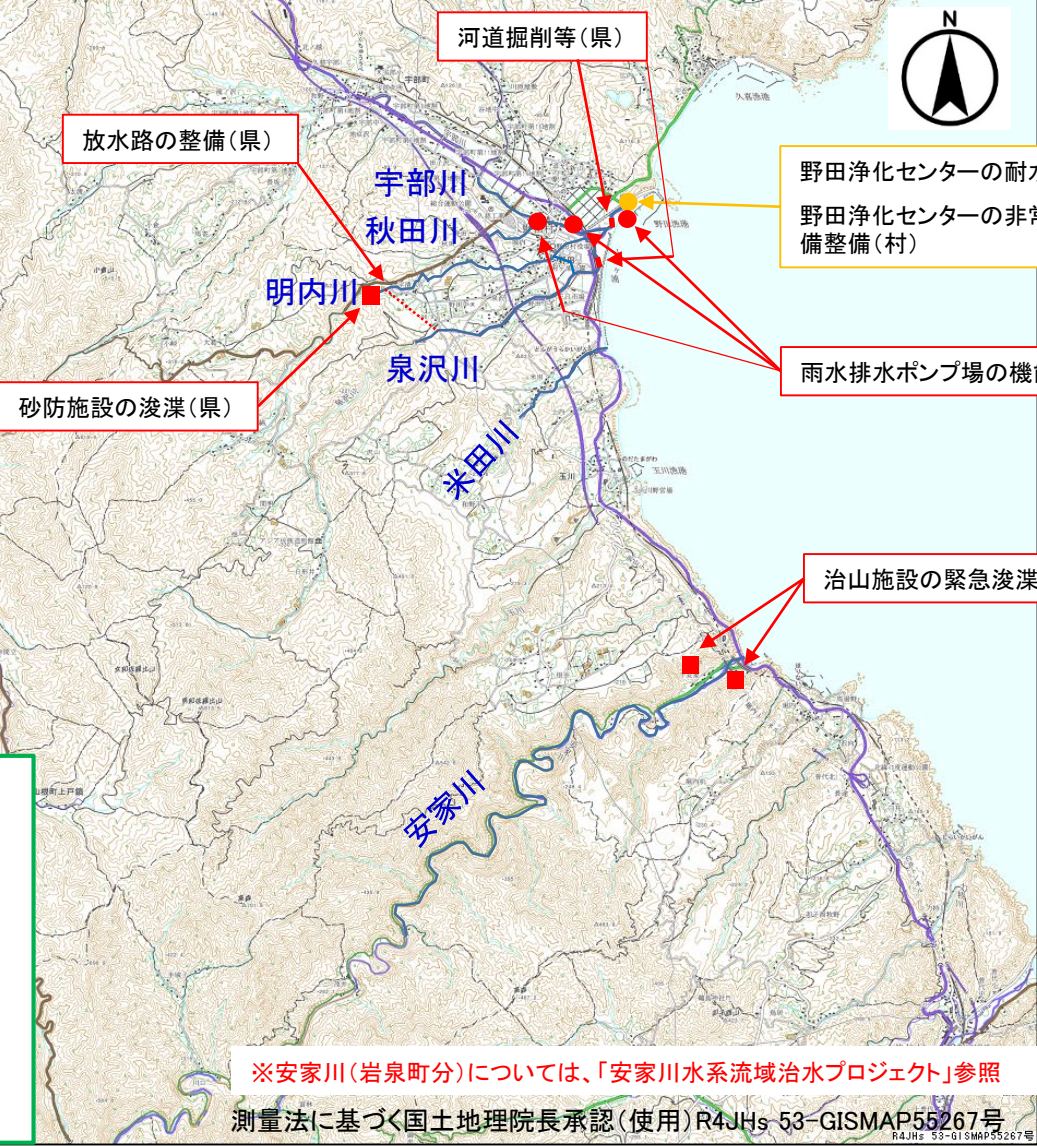
**実線** 完了後の維持管理、フォローアップ等



平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈圏域においては、河川改修、森林整備、河川・防災・気象情報の充実等を実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制や避難のための流域対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 野田村内の二級河川における河道掘削等(県)
- 野田村内の準用河川・普通河川における河道掘削等(村)
- 野田村内における森林整備・治山対策の推進(国・県・村)



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・森林整備・治山対策の推進【国・県・村】
  - ・河川改修、河道掘削等【県・村】
  - ・雨水排水ポンプ場の機能維持【村】

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・野田浄化センターの耐水化・非常用電源設備整備【村】

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
  - ・自主防災組織の結成・活動の促進【村】
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援と避難訓練の実施【村】
  - ・防災訓練の実施【村】
  - ・防災士の養成【村】
  - ・河川・防災・気象情報の充実等【国・県・町】
  - ・水位周知河川・ホットライン・タイムラインの活用【県・村】

河道掘削等(県)

放水路の整備(県)

宇部川

秋田川

明内川

泉沢川

米田川

砂防施設の浚渫(県)

野田浄化センターの耐水化(村)  
野田浄化センターの非常用電源設備整備(村)

雨水排水ポンプ場の機能維持(村)

治山施設の緊急浚渫(県)

※安家川(岩泉町分)については、「安家川水系流域治水プロジェクト」参照

○久慈圏域流域では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期】近年甚大な浸水被害を受けた箇所等について、河道掘削や築堤、河道付替等の河川改修を集中的に実施する。


森林整備・治山対策の推進、下水道施設等の雨水排水施設の整備を実施する。


ソフト対策では、要配慮利用施設の避難確保計画策定及び避難訓練の実施、自主防災組織の結成・活動促進を行うほか、防災士の養成や防災講演会や研修の実施で地域防災力及び防災意識の向上を図る。また、ハザードマップの更新や水位周知河川運用に加え、ホットライン・タイムラインの活用等による防災体制の強化及び河川・防災・気象情報の充実を図る。





















【中長期】河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施する。

ソフト対策では適宜フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

【凡例】

**破線**  事業中、取り組み中

**実線**  完了後の維持管理、フォローアップ等

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	森林整備・治山対策の推進	林野庁・岩手県・野田村		
	河川改修、河道掘削等	岩手県・野田村		
	雨水排水ポンプ場の機能維持	野田村		
被害対象を減少させるための対策	野田浄化センターの耐水化・非常用電源設備整備	野田村		
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	自主防災組織の結成・活動の促進	野田村		
	要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援と避難訓練の実施	野田村		
	防災訓練の実施	野田村		
	防災士の養成	野田村		
	河川・防災・気象情報の充実等	気象庁・岩手県・野田村		
	水位周知河川・ホットライン・タイムラインの活用	岩手県・野田村		

※短期は5年程度



平成28年台風第10号や令和元年台風第19号など、近年甚大な浸水被害が発生していることを踏まえ、久慈圏域においては、河川改修、森林整備、河川・防災・気象情報の充実等を実施し、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することに加え、あらゆる主体との協働のもと、土地利用規制や避難のための流域対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削等【県・村】
- ・雨水排水施設の整備【村】
- ・森林整備・治山対策の推進【国・県・村・森林整備センター】

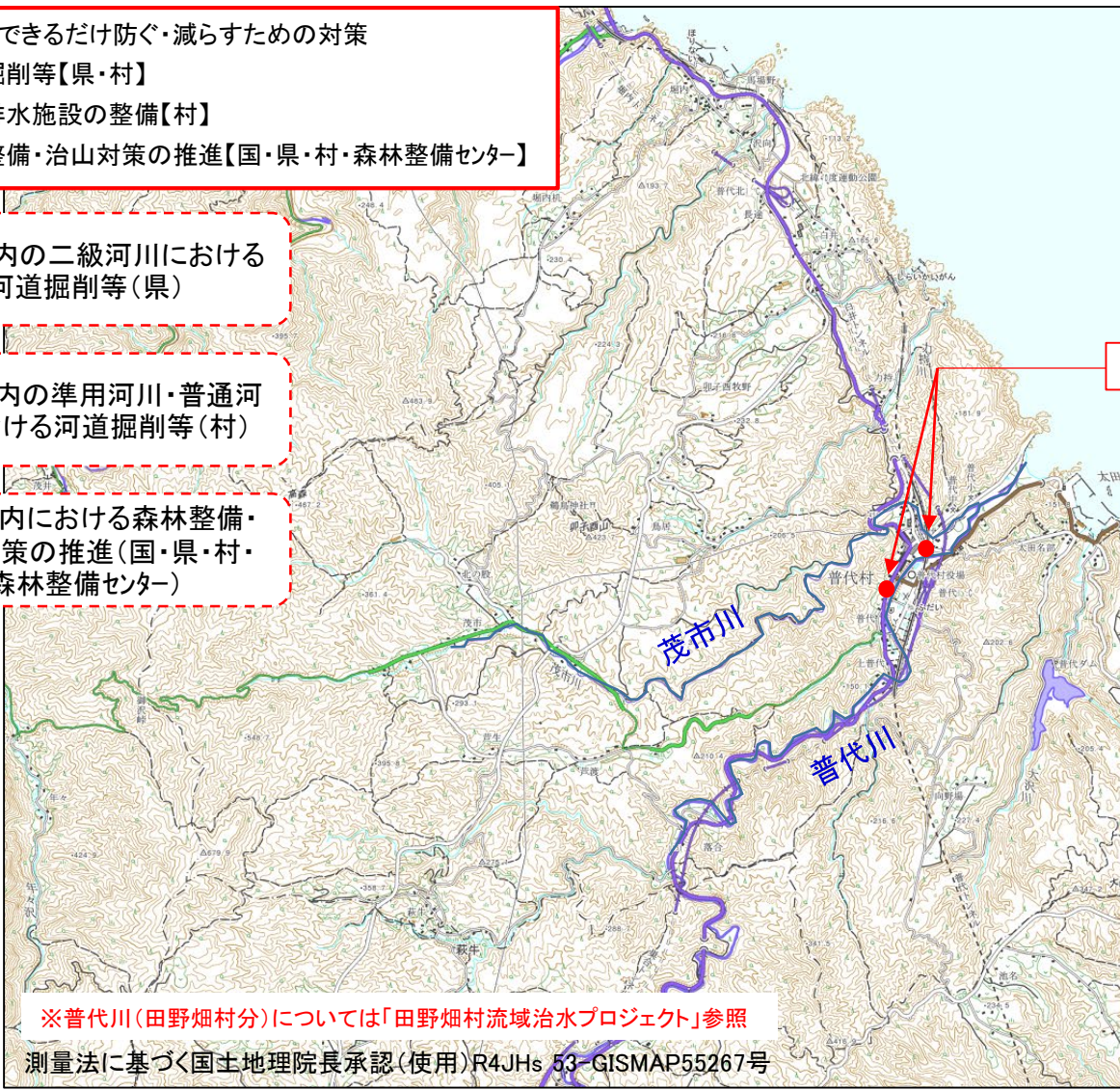
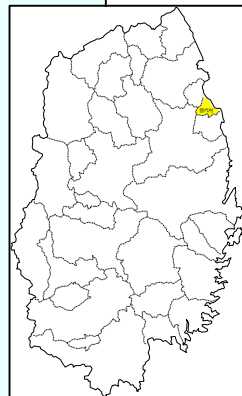
普代村内の二級河川における河道掘削等(県)

普代村内の準用河川・普通河川における河道掘削等(村)

普代村内における森林整備・治山対策の推進(国・県・村・森林整備センター)

雨水排水施設整備(村)

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
- ・自主防災組織の結成・活動の促進【村】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援と避難訓練の実施【村】
- ・防災士育成及び防災講話等講習会の実施【村】
- ・河川・防災・気象情報の充実等【国・県・村】
- ・水害発生に向けた体制の見直し・強化【村】
- ・水位周知河川の指定・運用【県】
- ・ホットライン・タイムラインの運用【県】



※普代川(田野畑村分)については「田野畑村流域治水プロジェクト」参照

